

# I - 7. 寒地そば遺伝資源の収集, 1986年

北海道農業試験場 作物第二部 特用作物研究室

犬 山 茂

## 1. まえがき

北海道におけるそば作は水田利用再編対策として栽培面積は昭和55年～昭和56年には4千ヘクタールにも達した。しかし、その後作柄が不安定なこと、収益性にも低いことから一時ほどの栽培面積はないが、それでも昭和61年の作付面積は3千ヘクタールで全国で最も多い。

道内の主要品種はそばに関しては単調で、昭和5年に奨励品種に採用された牡丹そばのみである。そばは他殖性作物のため、長年にわたって同一地域、場所で採種を繰り返している間に品種内分化し多少の差はあるものと推察される。これら品種・系統を広く収集し保存していくことは、今後そば等マイナークロップの育種を進めていく上で極めて重要なことと思われる。

## 2. 収集の概要

北海道におけるそばの主産地は空知、上川管内であるが、当地域は水田転作によって栽培面積が増したもので栽培歴としては比較的短い。そのため出所来歴に不確定な点もあると思われたので、自家消費を目的に畑地で古くから栽培されていた網走管内を中心に収集した。まず、そばの栽培農家を把握するため網走管内農業改良普及所、十勝農業試験場、中央農業試験場、上川農業試験場に文書ならびに電話連絡等によって収集、保存されているそばの実態の聞き取り、ならびにそば栽培農家名と収集の可能性について問い合わせた。その結果、試験研究機関は遺伝資源としてそば品種・系統を保存しているところはなく、十勝農業試験場のみ昭和54年～昭和57年にかけて実施したそばの総合助成試験で供試した1系統を保存していた。この系統については収集採種してから相当日時が経過しているので再増殖等の方策で更新する必要がある。そば栽培農家については農業改良普及所、中央農業試験場から網走管内20戸、石狩管内2戸、胆振管内2戸合計24戸の紹介があり、そのうち農家間の地理的条件等も勘案し20戸を選定した。収集活動についてはそばの作期が終り種子の入手が可能となった頃を見計らい9月下旬から12月にかけて行なった。収集に訪問した農家はすべて畑地での生産で、昨今の健康食品指向も影響し自家消費を目的に栽培していた。栽培歴はまちまちで昭和20年代から栽培を続けてきた農家から61年に始めて栽培した農家まで含み、概して言えば昭和50年代に入って作り始めたという農家が多かった。栽培品種・系統については大部分不明で牡丹そばと明言した所は5個所にすぎなかった。しかしながら、北海道におけるそばは春播（5月下旬～6月上旬）、夏播（7月上旬～7月中旬）を問わず品種としては牡丹そばのみであることを考えると、多少特性が異なっているとしても牡丹そばの品種内分化した系統と推察される。ただ美幌町収集のそばは開花結実が非常に遅延したとのことであったが、種子を町の雑貨商から入手したということを見ると道外の品種という可能性もある。収集農家の大部分は夏播で、また自家消費であるため多収穫への意欲に乏しく、余った農地への作付、肥培管理にも不適切な点もみられ安定多収技術への指導、助言が肝要と考えられた。

### 3. 今後の問題点

今回の収集は遺伝資源としての種子の確保に重点を置いて実施したため立毛の状態を確認することができなかった。そこで収集農家に対し品種特性について聞き取り調査を行ったが、農家段階では多くの品種・系統を扱った経験もなく適格な回答は得られなかった。そのため収集品種・系統の特性について同一場所で同一条件の下で比較、検討し遺伝資源としての特性を把握する必要がある。

### 4. 協力場所

西紋東部農業改良普及所

東紋西部農業改良普及所

斜網西部農業改良普及所

北見地区農業改良普及所

道立十勝農業試験場

道立中央農業試験場

道立上川農業試験場



図1. そば遺伝資源収集地

表 1 収集日程表

61. 9.22(月)		西紋東部農業改良普及所にそば栽培農家問い合わせ
9.26(金)	紋別郡滝上町元町 1カ所訪問	車 2系統収集 110km
9.27(土)		東紋西部農業改良普及所にそば栽培農家問い合わせ
9.30(火)	紋別郡白滝村 3カ所訪問	車 3系統収集 90km
10. 2(木)		北見地区農業改良普及所に栽培農家問い合わせ
10. 6(月)	北見市 3カ所訪問	車 3系統収集 100km
10. 7(火)	紋別郡遠軽町 2カ所訪問	車 2系統収集 15km
10. 8(水)		道立, 上川, 十勝農試に収集品種ならびに栽培農家について問い合わせ 斜網西部農業改良普及所にそば栽培農家問い合わせ
10.16(木)	常呂郡端野町, 網走郡美幌町 2カ所訪問	車 2系統収集 160km
10.28(火)	〃 置戸町 2カ所訪問車	車, 2系統収集 150km
11.11(火)	紋別郡生田原町 2カ所訪問	車 2系統収集 55km
11.21(金)	虻田郡洞爺村, 虻田町 2カ所訪問	国鉄, バス, 4系統収集 370km
11.22(土)	夕張郡長沼町 2ヶ所訪問	
12.13(土)	※電話連絡にて入手 (士幌産)	郵送, 1系統収集 道立十勝農試

表 2. 収集材料現地記録表 (寒地, そば 1986)

収集番号	作物名	属種名	現地名及在来種名	採集月日
1	そば	<i>Fagopyrum esculentum</i>	滝上産①	61.9.26
2	〃	〃	〃 ②	〃
3	〃	〃	白滝産①	9.30
4	〃	〃	〃 ②	
5	〃	〃	〃 ③	〃
6	〃	〃	北見産①	10.6
7	〃	〃	〃 ②	〃
8	〃	〃	〃 ③	〃
9	〃	〃	遠軽産①	10.7
10	〃	〃	〃 ②	〃
11	〃	〃	端野産	10.16
12	〃	〃	美幌産	〃
13	〃	〃	置戸産①	10.28
14	〃	〃	〃 ②	〃
15	〃	〃	生田原産①	11.11
16	〃	〃	〃 ②	〃
17	〃	〃	洞爺産	11.21
18	〃	〃	虻田産	〃
19	〃	〃	長沼産①	11.22
20	〃	〃	〃 ②	〃
21	〃	〃	士幌産	12.13

採 集 地	特 記 事 項	備 考
北海道紋別郡滝上町 横石定雄氏栽培	上川郡下川町より導入	
◇	紋別郡上湧別町より導入	やや晩生
北海道紋別郡白滝村 井上亀次氏栽培		
◇ 新保国英氏栽培		
◇ 山崎初男氏栽培		
◇ 北見市柏木 菊地一家氏栽培	雑穀商から種子購入	
◇ 北見市小泉 飯田鋭一氏栽培	61年農協から種子購入	
◇ 北見市東相内 伊藤節郎氏栽培		
◇ 紋別郡遠軽町 鈴木誠一氏栽培	町の業者から種子購入	
◇ 荒井良助氏栽培		
◇ 常呂郡端野町 加藤正氏栽培	川上郡弟子屈町から種子入手	
◇ 網走郡美幌町 浜中憲一氏栽培	町の雑穀商から種子購入	晩生
◇ 常呂郡置戸町 西島勝司氏栽培	十勝清水農協から種子購入	
◇ 木村幸得氏栽培		
◇ 紋別郡生田原町 佐久間正重氏栽培		
◇ 堀江寛氏栽培		
◇ 虻田郡洞爺村 毛利勝氏栽培		
◇ 虻田郡虻田町 松岡利一氏栽培		
◇ 夕張郡長沼町 仲野淳吉氏栽培		
◇ 日笠信一氏栽培		
◇ 河東郡士幌町 上面茂夫氏栽培	道立十勝農試収集(昭54年)	電話連絡入手 発芽不良?